



コミュニティバスなど検討を！

アンケートに寄せられたみなさんの声を 市に届けました



まちづくり交通課長さんに
アンケートの結果を手渡す

日本共産党国府津後援会は、橘・前羽地域のみなさんが、バスの本数が減り大変困っていることから、日本共産党の市民アンケートにバス問題のアンケートを添えました。短期間に切実な声が沢山寄せられ、一刻も早く対策しなければならぬことが浮き彫りになりました。

市にアンケートの結果を伝え、懇談

横田英司議員の紹介で、1月29日小田原市都市部まちづくり交通課にうかがい、課長さんにアンケートの結果をお伝えし懇談しました。

担当者の方は、大変真摯に向き合い対応して下さいました。

小田原市では、橘地区と片浦地区がバス問題を抱えているとのことでした。

コミュニティバスの要望

について、みなさんの考えを伝えたところ、担当者の方は「現状では毎日出すのは無理でも、曜日と時間を決めて出すのも一案。またバス1台、コミュニティバス1台出すのもドライバーさん一人の経費は同じです」と見解を示されました。

現在の神奈中というバス会社だけに頼らず、他市のコミュニティバスの様子もしっかり調べ、対応して欲しいと強く要望しました。

担当者の方は、私たちのアンケート結果を、事前にしっかり読んでくださった後での懇談となりましたので、地域のみなさんの現状、要望、提案

など、詳しくお伝えできました。

【アンケートの結果】

バス利用状況（複数選択可）

- 特に利用することもないので、別に困っていない（8人）
- いつも自分の家の車を使っているので、不便は感じていない（13人）
- バスをもっと利用したいが、本数が少ないので困っている（72人）
- 駅まで行くのに、家族に頼んで送迎してもらっている（27人）
- 駅まで自転車、バイクで行ってる（13人）
- タクシーを利用することもある（43人）
- コミュニティバスがあると良い（51人）
- 国府津駅まで行くことが多い（54人）
- 二宮駅まで行くことが多い（43人）

年代比率

- ・20代—5%
- ・30代—13%
- ・40代—8%
- ・50代—11%
- ・60代—17%
- ・70代以上—46%



山北町内
循環バス
愛称は
「ぐるりん」

小田原民報 2023年3月号外
 発行：日本共産党小田原市委員会
 住所：小田原市堀之内318-1
 電話：0465-20-3261
 （日本共産党小田原市委員会は見解を
 発表しました）

近隣の多くの自治体が実施しています

□二宮町・・・「二宮町コミュニティバス」の名称でコミュニティバスを運行

二宮駅を起点に町内を左回り、右回りする循環式のコミュニティバスを運行しています。

□中井町・・・「中井ふれあいバス」の名称でオンデマンドバスを運行

利用者登録が必要。事前予約し129箇所のバス停で乗降します。通院の利便性向上が目的。

□山北町・・・「山北町循環バス」の名称でコミュニティバスを運行

山北駅を起点に東部循環、西部循環、南部循環のコミュニティバスを運行しています。

□真鶴町・・・伊豆箱根バスに委託し「真鶴町コミュニティバス」を運行

真鶴駅を起点に岩線と真鶴線の2系統のコミュニティバスを運行しています。

□湯河原町・・・箱根登山バスに委託し「湯河原町コミュニティバス」を運行

湯河原駅と真鶴駅を往復するコミュニティバスを運行しています。

□湯河原町・・・予約型乗合い交通「ゆたぼん号」運行

セダン型車両（定員4人）で、温泉場、オレンジライン、鍛冶屋、福浦の4エリアを対象に運行。当日電話で予約し、途中で他のお客と乗り合わせて、それぞれの目的地まで運行します。買い物、通院などに利用しています。

湯河原
乗合い交通
「ゆたぼん号」



【みなさんから沢山寄せられた声の一部です】

○今これだけの本数なら、子どもが大きくなった時、もっと本数が少なくなり不便になってしまうのではと感じてしまいます。駅から遠い事をハンデに感じない交通網作りをしてほしい。

○国府津駅は快速が停車し、他線も通っているため、とても便利な駅です。しかし国府津駅行きの本数が激減し、二宮駅行きのバスも少ない為、スムーズに行けば1時間の道のりが、バスとタイミングが合わず、倍の2時間以上かかってしまうことも多いです。

○高齢者の為通院にバスを利用していたが、本数が減りタクシーを利用し、交通費もばかにならない。
○高齢者ドライバーへの免許返納の圧力が高まる中、代替の交通手段の補償がないのは行政の失態、怠慢である。バス増便、コミュニティバス運行、タクシー券配布などの検討を！

○昼間バスが無く困っている。1時間にせめて1本は通って欲しい。

○80才代一人暮らし。月に3~4回病院通いです。歩行困難なのでとても苦労しています。定期的にコミュニティバスが出ることを希望します。

○通勤で利用しており、本数が少なくて不便です。終バスも早いです。バスの本数が多ければ、もっと住民が増えると思います。特に子供が少なくなりました。

○バスの本数が少なく通学に自転車（小雨でも行ってる）。帰りも少なく大変だ。小田原市なのに忘れられているみたいだ。

○二宮町や中井町でできてるのに、小田原市でできない訳がない（コミュニティバス）。

○最終バスの時間が早い。終バス後タクシーが無いときがある。免許返納すると住み辛くなる。